

[横浜みなとみらいホール]
令和3年度業務計画及び収支予算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市西区みなとみらい2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688㎡
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から令和4年3月31日まで

3 施設運営にかかる基本方針

(1) 基本的な方針

令和3年度は第二期指定管理期間の最終年度となり“豊かな「音楽社会」を拓くコンサートホール”の実現に向けた運営の集大成として存在感を示すべき大切な年度となります。

横浜みなとみらいホールが天井の耐震化及び施設の長寿命化対策等の工事により年度を通じて休館となるなかで、休館中も継続すべき事業、および休館中だからこそできる事業に積極的に取り組むとともに、リニューアルオープンに向けた記念事業の準備と新たな運営を支える業務の改善を進めていきます。

みなとみらい21地区内に集積しつつある音楽施設や企業の研究開発部門との関係構築には休館中も特に留意して、横浜みなとみらいホールが独自性を最大限に発揮しながら横浜市文化芸術創造都市施策を発展させていく連携のあり方を提案していきます。

加えて新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することを想定し、感染防止対策の徹底、および様々な運営上の影響を最小限に留め、持続的な経営を目指すべく工夫と努力を結集して運営にあたります。

(2) 令和3年度の業務の方針・達成目標

開館当初から継続して開催され歴史を積み重ねてきた重要な事業については、ホールの休館中も実施可能な他の会場を確保のうえ継続に努めるほか、市内18区への事業展開や令和2年度に実施した横浜WEBステージの成果を館外で発揮する事業など、休館中であっても横浜みなとみらいの存在感を示す活動に力を入れます。

引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るとともに、経営面の影響が長期化するリスクに備えた持続可能な運営体制を強化すべく、運営上の課題と改善策を検討のうえ果断に実行します。

【事業】

2022年11月のリニューアルオープンに向けて、横浜みなとみらいホールならではの企画を全市的に実施していきます。「18区コンサート」は2年をかけて、横浜みなとみらいホール所縁の出演者に依頼して、横浜の全18区の区民文化センターなどを会場に音楽分野のファンの裾野を広げる事業として実施します。

「新たな音楽文化の提案」、「次代の芸術家、音楽と市民をつなぐ」プロジェクトとして、市民の方々とともに企画を考えていくプロジェクトは休館期間中に手掛けることが重要と考えています。2000年から取り組む「こどもの日コンサート」に中学生プロデューサーを導入します。「未来を担う子どもたちへの特別な音楽体験」となることが期待されます。

一般の方々にはWEBやリアルイベントなどで横浜みなとみらいホールを疑似体験として感じ取っていただく「横浜WEBステージ／移動型みなとみらいホール」などを開催して、「横浜みなとみらいホール」の存在感を横浜市民へ印象付け続ける事業を実施していきます。

【施設運営】

2022年11月のリニューアルオープンに向けて、より良い運営となるよう運営面での見直しを行うとともに、休館中に再開される利用受付を効率的に行えるよう施設管理システムを改訂します。また運営変更にあたって利用要綱や運営マニュアルの改訂、レセプション募集など必要な手続き・準備を進めます。

国内オーケストラを始めとした協力団体および一般団体に対して、利用開始時期や受付方法など必要な情報を取りまとめ、利用者への提供を進めます。

【施設維持管理】

48街区ホール仮事務所において事務所を適切に維持管理できるよう、管理会社と調整を進めます。また事務所運営上必要な法令を遵守します。

ホールの大規模修繕工事の進行にあたって横浜市、施工会社との定例会議に参加し情報収集に努めます。リニューアルオープン後のホールの各機能、サイン計画など必要に応じて検討に参加し各種機能や意匠、デザインの決定に関わります。

【広報】

休館中のホール事業、取組について積極的に広報PRを行います。リニューアル後の顧客制度を構築し幅広く登録者を募る準備に着手します。

またホールのリニューアルオープンに向けて公式ウェブサイトの更新を行います。更新にあたってはホールの魅力とコンセプトを分かりやすく発信するとともにユーザビリティの向上を目指します。

4 経営

(1) 施設が持つ機能を最大限に活かした総合力ある経営について

—総合力ある経営強化に向けた休館中の取組—

<p>[取組内容]</p> <p><u>(ア)組織内連携と経営強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●各専門に応じた適正な人員配置 ●経営力を高めるブランディングの推進 <p><u>(イ)財団全体での総合力発揮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●横浜市所管課、財団事務局や所管施設と密接に連携します。 <p><u>(ウ)社会的協働・連携による取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●教育機関・地元オーケストラ団体との協働・連携に取組み、音楽文化を通じた地域社会への貢献度を高めます。 	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)組織内連携と経営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門性が発揮できる体制づくりにより、組織力強化を目指します。 ■ブランディングのための調査・分析によって横浜みなとみらいホールの潜在的な強みと目指すべき方向性を明確にし、経営力の強化につなげる道筋を示します。 <p>(イ)財団全体での総合力発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> □横浜市および財団所管他施設との連携事業を実施：2プロジェクト <p>(ウ)社会的協働・連携による取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> □教育機関との協働・連携企画：2件
---	--

(2) みなとみらい地区及び都心部の活性化及び都市の魅力づくりへの寄与について

<p>[取組内容]</p> <p>(ア)MICE 利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リニューアルオープン後の MICE 利用促進に向けた営業と協力事業を実施します。 <p>(ウ)MM21 の文化施設間連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みなとみらい 21 エリアに集積する音楽施設が連携して目指す「ミュージックシティ」としてのブランディングに積極的に関わりません。 	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)MICE 利用の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> □パシフィコ横浜との連携事業：1回 <p>(ウ)MM21 の文化施設間連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■みなとみらい 21 ミュージックシティ推進検討会の構成メンバーとして「ミュージックシティ」での連携のイメージを具体化し、より大きなオープンイノベーションの中に位置づけます。
---	---

5 事業

(1) 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し音楽文化を支える裾野を広げるための取組

<p>[目指す成果]</p> <p>長期休館となることを好機ととらえ、これまで継続してきた企画を基に、横浜市内全域で各区や区民文化センターとの連携による鑑賞事業や、公演制作に中学生が携わるなど、さまざまなアプローチによる音楽事業を実施することで、市民生活の中に音楽を根付かせていきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●横浜 18 区コンサート</p> <p>*横浜市招待国際ピアノ演奏会の過去出演者や横浜文化奨励賞過去受賞者による演奏会を横浜市内数か所で実施します。実施にあたっては、各区地域振興課や区民文化センター等と連携し、企画制作します。</p> <p>●こどもの日コンサート</p> <p>*神奈川県立青少年センター ホールを会場に2公演実施</p> <p>*新規の取組として、中学生が公演の企画・制作に携わり、公演や演奏家と来場のお客様をつなぐ役割を担います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●横浜 18 区コンサート</p> <p><input type="checkbox"/>実施地域 9 区</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 2,250 人</p> <p>●こどもの日コンサート</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 700 人</p>

(2) 新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取組

<p>[目指す成果]</p> <p>クラシック音楽の専門ホールとして培ってきた専門性と、市内の様々な地域・人々との協働・連携により、音楽の新しい価値を創造・発信する事業を実施し、市民の創造性を高めるとともに、「移動型横浜みなとみらいホール」事業を実施し、リニューアル後の横浜みなとみらいホールのプレゼンス向上を目指します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア 現代音楽の紹介</p> <p>●若手作曲家を起用した「Just Composed 2022 Spring in Yokohama」 (会場：神奈川県民ホール小ホール)</p> <p>*新進作曲家に新曲創造の機会を提供し、横浜から発信するシリーズ公演。シリーズ初登場となる「オンドマルトノ」を取り上げ、楽器の魅力とともに、新しい音楽の価値を創造します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 現代音楽の紹介</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 300 人</p>

<p>イ 移動型横浜みなとみらいホール</p> <p>●バーチャル体験イベント</p> <p>*前年度の「横浜 WEB ステージ」で収録した音声・動画等を活用したイベントを実施します。</p> <p>ウ 横浜芸術アクション事業</p> <p>●横浜 18 区コンサート <5 (1) 再掲></p> <p>*横浜市招待国際ピアノ演奏会の過去出演者や横浜文化賞奨励賞過去受賞者による演奏会を横浜市内数か所で実施します。実施にあたっては、各区地域振興課や区民文化センター等と連携し、企画制作します。</p> <p>●クリエイティブ・インクルージョン事業</p> <p>*障がいの有無に関係なく、誰もが音楽を楽しむ機会を提供する事業。会場の照明をすべて消した空間で行う「ミュージック・イン・ザ・ダーク」の実施 (会場：横浜能楽堂)</p> <p>●横浜 WEB ステージ</p> <p>*新しい音楽体験として、最新技術を駆使した動画コンテンツを配信する事業継続実施。定期的に新規コンテンツも配信します。</p> <p>●オルガン連携事業</p> <p>*「パイプオルガンと横浜の街」の実施。横浜市内のパイプオルガンを、横浜の街の魅力とともに、オルガン音楽と合わせて紹介します。</p>	<p>イ 移動型横浜みなとみらいホール</p> <p><input type="checkbox"/>バーチャル体験イベント 3回</p> <p>ウ 横浜芸術アクション事業</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 3,000人</p>
---	--

(3) 次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取組

<p>[目指す成果]</p> <p>アーティストの立場で音楽を広める人材、コンサート制作で音楽と市民をつなぐ人材など、音楽文化を次代へ継承し持続可能にするために、若手音楽家や担い手の育成に取り組みます。特に次代を担う中高生の演奏活動を支援するとともに、音楽で人と人をつなぐ取組を市内の幅広い地域で展開し、次代の音楽文化を支える人材を育てていきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「横浜 18 区コンサート」「Just Composed」等への登用 ●「Just Composed」での作曲家育成 * 関連プレトークも実施 <p>イ 一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みなとみらい Super Big Band * 中高生によるビッグバンド。単独コンサートのほか、地域イベントにも出演します。 ●吹奏楽部応援プロジェクト * 中学校の吹奏楽部を横浜市内の吹奏楽団等が指導し、合同演奏会を実施。 <p>ウ ピアニスト育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第 39 回横浜市招待国際ピアノ演奏会 * 国内外から将来を嘱望されるピアニストを発掘し、横浜から広く紹介します。 (会場：神奈川県立音楽堂) <p>エ 鑑賞以外の場面で芸術家や音楽と市民をつなぐ事業</p> <p>(ア) 音楽大学や NPO 法人、地域企業等との連携による事業の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <ul style="list-style-type: none"> □若手アーティストの登用 8 人 □若手作曲家 1 名の登用 <p>イ 一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <ul style="list-style-type: none"> □「Big Band」 40 人参加 □「吹奏楽部」ワークショップ実施 2 校 <p>ウ ピアニスト育成</p> <ul style="list-style-type: none"> □若手ピアニスト 4 名の起用 ■こども交流会を実施し、ピアニストとこどもたち双方に今後の音楽活動や音楽体験への相乗効果を生み出します。 <p>エ 鑑賞以外の場面で芸術家や音楽と市民をつなぐ事業</p> <p>(ア) 音楽大学・NPO・企業との連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> □提携事業 5 事業

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取組

<p>[目指す成果]</p> <p>音楽を鑑賞すること、体験すること、コンサートづくりに参加することなど、多感な子どもたちに様々な音楽体験の場を提供し、創造性、表現力、豊かな感性を育成するとともに、音楽の価値を継承します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●こどもの日コンサート <5 (1) 再掲> *神奈川県立青少年センター ホールを会場に2公演実施 *中学生が公演の企画・制作に携わり、公演や演奏家と来場のお客様をつなぐ役割を担います。</p> <p>●学校プログラム *横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業として、例年より多くの学校で展開します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●こどもの日コンサート <input type="checkbox"/>中学生プロデューサー 15人 <input type="checkbox"/>入場者数 700人</p> <p>●学校プログラム <input type="checkbox"/>アウトリーチ学校数 8校</p>

(5) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取組

<p>[目指す成果]</p> <p>音楽文化の持つ力を活かし、市内各所で事業を実施します。地域コミュニティに活力をもたらす事業や、街の賑わい創りに貢献する事業、ホールへの来訪が難しい方々に音楽の魅力を直接伝える事業などのほか、アーティストが企画や制作に関わる事業など、音楽文化の持つ可能性を最大限に発揮し、市民やアーティストの横浜への愛着を育むとともに、リニューアル後の横浜みなとみらいホールへの期待感を高めます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア アウトリーチ事業</p> <p>●学校プログラム <5 (4) 再掲> *横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業として、例年より多くの学校で展開します。</p> <p>●18区コンサート <5 (1) 再掲> *横浜市招待国際ピアノ演奏会の過去出演者や横浜文化賞奨励賞過去受賞者による演奏会を横浜市内数か所で実施します。実施にあたっては、各区地域振興課や区民文化センター等と連携し、企画制作します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア アウトリーチ事業 <input type="checkbox"/>学校プログラム 8校</p> <p><input type="checkbox"/>18区コンサート 9公演 ■各区地域振興課、区民文化センターと連携した公演実施</p>

<p>イ 横浜音祭り 2022 準備</p> <p>●プロデューサー in レジデンス</p> <p>*横浜音祭り 2022 に向けて、アーティストが企画からプロデュースまでを担う独自プロジェクトを始動させます。</p>	<p>イ 横浜音祭り 2022 準備</p> <p>□プロデューサー（アーティスト）選定 1名</p>
<p>ウ リニューアル後につながるオルガン事業展開</p> <p>●オルガン連携事業</p> <p>*「パイプオルガンと横浜の街」実施とともに、他施設のオルガン担当者とのネットワークを継続していくための情報収集、次期ホールオルガニストとの事業企画、連絡調整などを通し、リニューアル後もホールの顔となるオルガン活用の展開を検討していきます。</p>	<p>ウ リニューアル後につながるオルガン事業展開</p> <p>■オルガン担当者ミーティング実施</p> <p>■次期ホールオルガニストとの連絡調整</p>
<p>エ 市内の商業施設等でのアウトリーチ事業</p>	<p>エ 市内の商業施設等でのアウトリーチ事業 休館期間中もクイーンズスクエア横浜で賑わい創りイベントを実施</p>

(6) ホールにおいて蓄積された音楽に関する情報やネットワーク、ノウハウを活かした市民の音楽活動支援

<p>[目指す成果]</p> <p>これまでの公演のアーカイブ映像や、昨年度中までに収録してきた動画配信等により、長期休館だからこそ、横浜みなとみらいホールの存在をアピールします。また、休館中に実施していく地域との連携事業やアウトリーチ事業の様子も定期的に WEB 等で発信し、地域と横浜みなとみらいホールとのネットワークをリニューアル後も継続していきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア アーカイブ配信</p> <p>●「横浜 WEB ステージ」等の動画を配信</p> <p>イ 休館中取組の発信</p> <p>●「こどもの日コンサート」など、公演や事業が実施されるまでの記録を発信</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア アーカイブ配信</p> <p>□動画コンテンツ数 10 件</p> <p>イ 休館中取組の発信</p> <p>■「こどもの日コンサート」中学生プロデューサー ブログの配信</p> <p>■「18 区コンサート」地域連携状況発信</p>

6 運営

(1) 利用者のニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取組
—再開館後に利用者のニーズに応えられる運営を行うために以下の取組をすすめます—

[取組内容]	[達成指標]
<p>ア 施設運営方針改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再開館後の施設運営（利用受付、利用料金、附帯設備利用料、レセプションist運営等）について変更案を作成し館内で合意するとともに横浜市と協議を進めます。 	<p>ア 施設運営方針改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 第3期指定管理期間における施設運営方針策定（種別） <ul style="list-style-type: none"> ・ホール利用受付方法 ・ホール利用調整会の運用 ・利用料金（附帯設備利用料） ・レセプションist運営 ・公演運営方法（演奏会の記録など） ■ 上記に基づき、休館後の受付業務を開始します。
<p>イ 利用要綱等改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アの方針に沿って、施設利用要綱、施設運営マニュアル、施設利用案内の改訂を行います。 	<p>イ 利用要綱等改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 利用要綱改訂 ■ 施設運営マニュアル改訂 ■ 施設利用案内作成
<p>ウ 施設管理システム改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 練習室の利用受付、大小ホールの空き情報の照会、利用受付及び利用前打合せをオンライン化します。 	<p>ウ 施設管理システム改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施設管理システム改訂 ■ ウェブサイト機能追加（オンライン化） <ul style="list-style-type: none"> ・練習室利用受付 ・大小ホール空情報照会 ・利用受付、利用打合せ
<p>エ レセプションist運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公演形態に応じてレセプションistの配置数を柔軟に行えるよう運営方法を変更します。 ● レセプションist採用準備を行います。 	<p>エ レセプションist運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ レセプションist用マニュアル改訂 ■ レセプションist採用計画策定 ■ レセプションist研修計画策定 ■ レセプションist採用要項作成
<p>オ その他運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 託児サービス、ドリンクサービス運営等について運営課題を洗い出し変更すべき点について計画します。 	<p>オ その他運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ その他運営変更点について、施設運営マニュアルへの反映

(2) 日本を代表するとともに、市民の身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取組

—長期休館中の取組—

<p>[取組内容]</p> <p>ア 利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣企業等にも利用促進をはかります。 ●利用率 <p>大ホール</p> <p>小ホール</p> <p>リハーサル室</p> <p>レセプションルーム</p> <p>音楽練習室</p> <p>イ 満足度の高い運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レセプションリスト・マネージャーミーティングの実施 <p>ウ 施設見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通常のホール利用下見対応 <p>エ 物販</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホールと横浜の魅力を発信する物販に取り組みます。 <p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窓口を貸事務所に設置し、業務の基準に従い適切に実施します。 <p>カ ドリンクコーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大ホール・小ホールホワイエに設置されているドリンクコーナーにおいて主催者の求めに応じ公演開催時に飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意します。 <p>キ 託児サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●HP等を活用した託児サービスの周知 	<p>[達成指標]</p> <p>ア 利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>休館中のため無し <input type="checkbox"/>利用率 <p>休館中のため全諸室で利用無し</p> <p>イ 満足度の高い運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レセプションリスト・マネージャーミーティングの実施：無し <p>ウ 施設見学</p> <p>休館中のため、対応無し</p> <p>エ 物販</p> <p>休館中のため、対応無し</p> <p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ■丁寧で正確な対応を実施します。 <p>カ ドリンクコーナー</p> <p>休館中のため、対応無し</p> <p>キ 託児サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業によって設置する場合は周知を行います。
---	--

(3) プロモーションの充実

<p>[取組内容]</p> <p>ア 広報プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホールブランドの確立に向けて館内外の意見を集約するとともに、他施設との差別化をはかるためコンセプトを定めます。 ● ホールのイメージを統一的に発信するためホールロゴタイプとシンボルマークを策定します。 ● 休館中の取組について様々な手法を用いてPRを行います。 <p>イ <u>WEBサイトのリニューアル</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホールの魅力とコンセプトを分かりやすく伝えるため公式ウェブサイトの改訂を行います。 ● スマートフォンやタブレット端末で視聴できるようモバイル対応を実現します。 ● 施設のオンライン予約機能など施設管理システムと連携した機能を搭載します。 <p>ウ <u>友の会組織のウェブ会員への移行</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● みなとみらいホールの顧客である「みらいすクラブ」からウェブ会員組織へスムーズな移行を実現します。 ● ウェブ会員組織へ提供するサービスを検討します。 	<p>[達成指標]</p> <p>ア 広報プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ホールコンセプトの策定 ■ ロゴ・シンボルマークの作成 □ メルマガ配信：年10回 □ ツイッターフォロワー数：8,000名 休館期間中においてもフォロワー数を維持します（令和元年度：7,172名） <p>イ <u>WEBサイトのリニューアル</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 公式ウェブサイト改訂業務のプロポーザル実施 ■ 公式ウェブサイト改訂業務の実施設計の実施 <p>ウ <u>友の会組織のWEB移行</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □ WEB会員への移行者 800名 ■ WEB会員組織運営要綱
---	--

(4) 条例の遵守

<p>[取組内容]</p> <p>ア 施設予約開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リニューアルオープンに向けて大小ホールの新規予約を開始します。 ● 新規予約受付に際しては感染症拡大防止をはかるため対面ではなく期間を設けて郵送やメールで受付を行います。 	<p>[達成指標]</p> <p>ア 施設予約開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大ホール：2022年5月分から予約受付 小ホール：2022年11月分から予約受付
--	--

<p>イ 利用料金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 条例に基づき適切な料金徴収を行います。 	<p>イ 利用料金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 適正な料金徴収
--	--

7 施設維持管理

(1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 長期休館中の管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長期休館中のピアノ移転やパイプオルガンにかかる作業について、横浜市等と適切に調整を行います。 ● リニューアルオープン後の警備業務、設備業務、清掃業務について課題を洗い出し適切な業務内容に改訂します。 ● ホール建物、諸設備、備品類の現状などの情報交換を密にはかり、大規模修繕関係各所との協力・調整をはかります。 <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市による大規模修繕計画実施への協力し、リニューアルオープン後の点検・定期整備事項について、情報収集を行います。 ● QSY 管理組合事務局会議、管理打合せ等に参加し、周辺との連携をはかります。 ● 仮事務所における施設管理業務について、設備管理・清掃管理を専門業者に委託し、相互の連携をはかる。 <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法令等に基づき、適正な施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築衛生環境を維持管理します。 <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保安警備業務を適切に行います。 <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 業務の基準に基づき駐車場御利用者等の安全確保に努めます。 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 長期休館中の管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 過失事故 0 件 ■ 警備業務仕様書 ■ 設備業務仕様書 ■ 清掃業務仕様書 <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 定例会議参加 月 1 回 <input type="checkbox"/> QSY 定例会議参加 月 1 回 <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <p>仮事務所において以下の通り業務を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 空気環境測定 年 6 回 <input type="checkbox"/> 照度測定 年 1 回 ■ ごみ分別の徹底 <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 過失事故 0 件 <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 過失事故 0 件 ■ 改修工事に必要な駐車場（クイーンズス
---	--

<p><u>カ 中庭の取り扱い</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 植栽の手入れを業者に委託します。 <p><u>キ 防災等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 業務の基準に基づき、防火防災に努めます。 <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災マニュアル、危機管理マニュアル ● 救急要請、事故報告 <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電気主任技術者 ● 建築物環境衛生管理技術者 ● 無線従事者 ● 甲種防火管理者及び防災管理者 	<p>クエア横浜) 借上げ</p> <p><u>カ 中庭の取り扱い</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □ 植栽手入れ 年数回 <p><u>キ 防災等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域全体の防災関連情報を共有します。 □ 防災管理自主点検 年2回 □ 防災設備点検 年1回 □ 消防訓練・防災訓練 年1回 <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施設内で周知します。 ■ 緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行うとともに職員への周知を徹底します。 <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 電気主任技術者の委託をもって配置にかえます。 ■ 建築物環境衛生管理技術者を委託し配置 □ 無線従事者 2名配置 □ 防火・防災管理者 職員1名配置
--	--

8 その他の業務

(1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 政策経営協議会を開催します。 <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● モニタリングを実施します。 ● 政策経営協議会での協議に基づき、効果的に年間業務計画を策定します。 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 横浜市の文化政策に則った適正な運営を行います。 <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □ 原則月1回 ■ モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画につなげます。
--	--

<p>ウ <u>業務評価</u></p> <p>●PDCA サイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討し、今後の運営に反映させます。</p>	<p>ウ <u>業務評価</u></p> <p>□自己評価・横浜市評価の実施</p> <p>■指定管理者選定評価委員会による外部評価・業務視察・ヒアリングの実施</p>
--	--

(2) 収支計画

<p>[取組内容]</p> <p>ア <u>収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</u></p> <p>●ファンドレイジング活動に取り組みます。</p> <p>イ <u>支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)</u></p> <p>●省エネルギー化やコスト削減を検討します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア <u>収入</u></p> <p>□企業協賛金・助成金獲得 約 5,000 千円</p> <p>イ <u>支出</u></p> <p>■ 廃棄物の発生量削減に努め、廃棄に要するコスト削減につなげます。</p>
--	---

9 組織に関する業務の計画

(1) 組織について

<p>[取組内容]</p> <p>ア <u>明確な責任体制の構築</u></p> <p>●組織内意思決定</p> <p>イ <u>専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <p>●ホールの新しい事業を企画するために必要な人材と人員を確保し、より高い専門性を発揮できる組織づくりに努めます。</p> <p>●リニューアルオープン後の運営体制を企画立案できるような人材を配置します。</p> <p>ウ <u>仮事務所内における執務</u></p> <p>● 仮事務所内では平日勤務とし主催事業やホール利用状況に応じて出勤職員及び人数を決定します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア <u>明確な責任体制の構築</u></p> <p>■グループ長会議を毎週開催してホール運営にかかる方針を決定、議案を決裁します。</p> <p>■リーダー以上が参加する連絡会議を毎週開催して共有、円滑に執行します。</p> <p>イ <u>専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <p>■適正な人員配置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1名</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>総支配人</td> <td>1名</td> <td>課長級 常勤</td> </tr> <tr> <td>グループ長</td> <td>2名</td> <td>課長級 事業1 経営1</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>3名</td> <td>係長級 事業1 経営2</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2名</td> <td>経営2</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8名</td> <td>事業4 経営4</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>3名</td> <td>事業1 経営2</td> </tr> <tr> <td>受付スタッフ</td> <td>適宜</td> <td>チケットセンタースタッフ兼務</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ <u>仮事務所内における執務</u></p> <p>□ 営業時間 平日 10:00-17:00 (職員勤務 平日 9:00-17:45)</p>		人数	備考	館長	1名	非常勤	総支配人	1名	課長級 常勤	グループ長	2名	課長級 事業1 経営1	チームリーダー	3名	係長級 事業1 経営2	担当リーダー	2名	経営2	職員	8名	事業4 経営4	アルバイト	3名	事業1 経営2	受付スタッフ	適宜	チケットセンタースタッフ兼務
	人数	備考																										
館長	1名	非常勤																										
総支配人	1名	課長級 常勤																										
グループ長	2名	課長級 事業1 経営1																										
チームリーダー	3名	係長級 事業1 経営2																										
担当リーダー	2名	経営2																										
職員	8名	事業4 経営4																										
アルバイト	3名	事業1 経営2																										
受付スタッフ	適宜	チケットセンタースタッフ兼務																										

(2) 人材育成

<p>[取組内容]</p> <p>施設における組織力の向上のため、人材育成に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none">●MB0 による OJT を積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。●職員の育成を目的とした自発的な研修を奨励します。●事務局研修への参加	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■MB0 の目標設定、中間・期末評価において、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行います。■新規配属職員への個人情報保護研修（年1回実施）■事務局研修に積極的に参加できる体制をつくります。
--	--

10 留意事項

(1) 保険及び損害賠償の取り扱い

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジャーサービス費用保険	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■各種保険に加入し、保険対応が必要な案件があった場合は、速やかに対応します。
--	--

(2) 法令の遵守と個人情報保護

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●公の施設の管理者として法令を遵守し、適正な個人情報の取扱いを推進します。●「マイナンバー制度」導入に伴い、事務取扱い手順を徹底し事故防止に努めます。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■個人情報取扱いマニュアルの周知徹底■マイナンバー制度事務取扱い手順の徹底
--	--

(3) 情報公開への積極的な取組

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●公の施設の管理者として、説明責任を果たす観点から、情報公開に対し積極的に取り組みます。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行います。
--	---

(4) 市及び関係機関等との連絡調整

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を共有します。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■政策経営協議会や関係機関との会議はもちろん、日頃の連携をはかり、報告等速やかに行います。
---	---

以上

令和3年度 「横浜みなとみらいホール」 収支予算

収入の部

(税込、単位：円)

科目	R3年度予算額	説明
指定管理料	440,596,000	横浜市より
通常運営費	407,769,000	
大規模改修（移転関係）	31,243,000	
大規模改修（駐車場借上げ）	1,584,000	
市受託料収入	0	（心の教育ふれあいコンサート）
利用料金収入	0	長期休館による
自主事業収入	24,966,000	
自主事業収入	9,966,000	
市負担金収入（アクション）	15,000,000	
雑入	6,550,000	
印刷代	0	
自動販売機手数料	0	
協賛金・助成金・寄付金	6,550,000	
その他（ゴミ処理代など）	0	
収入合計	472,112,000	

支出の部

科目	R3年度予算額	説明
人件費	157,031,000	
給与・賃金	127,692,000	
社会保険料	19,066,000	
通勤手当	4,406,000	
健康診断費	176,000	
勤労者福祉共済掛金	102,000	
退職給付引当金繰入額	5,589,000	
事務費	25,276,000	
旅費	433,000	
消耗品費	1,330,000	
会議賄い費	15,000	
印刷製本費	150,000	
通信費	1,194,000	
使用料及び賃借料	307,000	
横浜市への支払分	0	
その他	307,000	
備品購入費	7,800,000	予約システム更新(10年経過)含む
仕入	0	公共駐車場販売用駐車券
施設賠償責任保険	50,000	
委託費	11,367,000	QSY横浜大店立地法関連、チケセン業務委託、その他委託業務
職員等研修費	0	
振込手数料	300,000	
リース料	1,685,000	
手数料	480,000	クレジット手数料
地域協力費	165,000	QSYイベント実行委員会、盆踊り協賛金
事業費	97,846,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	0	（心の教育ふれあいコンサート）
自主事業費（アクション）	38,877,000	
自主事業費	58,969,000	
管理費	75,367,000	
光熱水費	47,800,000	
電気料金	3,450,000	横浜みなとみらいホール基本料金
冷温水料金	44,350,000	横浜みなとみらいホール基本料金
水道料金	0	
修繕費	0	
機械警備費	0	
設備保全費	4,934,000	
電気設備保守	0	
建物管理費	3,878,000	QSYBAシステム、排水槽清掃他
その他委託費	1,056,000	舞台相談業務
その他保全費	0	
共益費	22,633,000	QSY管理費、負担金、MM21負担金
公租公課	21,917,000	
事業所税	16,000	
消費税	21,781,000	
印紙税	95,000	
その他（電波使用料など）	25,000	電波使用料
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	61,848,000	
本部分	61,848,000	
事務所移転関連経費	31,243,000	
移転費用(引越越し・整備費)		
事務所管理費用(賃借料、管理費、光熱水費)	31,243,000	
大規模改修（地下2階駐車場借上げ費）	1,584,000	
地下2階駐車場借上げ費	1,584,000	
二一ス対応費	0	
支出合計	472,112,000	
差引	0	

令和3年度 横浜みなとみらいホール 事業一覧

No.	開催時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 (見込)
1	5月5日	主催	横浜みなとみらいホールPresents こどもの日コンサート2021	神奈川県青少年センター ホール	こどもの日にオーケストラ鑑賞公演を開催し次世代育成をはかる事業。中学生がプロデューサーとして企画制作に携わる新たな展開をはかる。	700
2	9月-3月	主催	横浜18区コンサート	市内公会堂、区民文化センター	横浜みなとみらいホールゆかりの出演者によるコンサートを市内各区で実施する。令和3年度は9区予定。	2,250
3	11月6日	主催	第39回横浜市招待国際ピアノ演奏会	神奈川県立音楽堂	世界中から将来を嘱望されるピアニストを発掘し横浜から広く紹介するコンサート。	600
4	12月5日	主催	クリエイティブ・インクルージョン事業	横浜能楽堂 ほか	障がいの有無に関係なく、誰もが音楽を楽しむ機会を提供する。横浜能楽堂にて、会場の照明をすべて消した空間で行う「ミュージック・イン・ザ・ダーク」公演を予定。	300
5	2月26日	主催	Just Composed 2022 Spring in Yokohama —現代作曲家シリーズ— 「オンド・マルトノ～魂の詩～」	神奈川県民ホール 小ホール	新進作曲家に新曲創造の機会を提供するとともに、時代を表現する新しい作品を横浜から発信することを目指すシリーズ公演。池辺晋一郎、白石美雪企画委員等から構成される選定委員が委嘱作曲家を選定。	350
6	通年	主催	みなとみらいSuper Big Band	市内各所	公募中高生によるビックバンドをホールで編成。熱帯ジャズ楽団をはじめとするプロ・ミュージシャンの指導で音楽の楽しさを学ぶ。年に数回ライブを実施。	1,200
7	未定	主催	吹奏楽部応援プロジェクト	市内中学校	横浜市内吹奏楽団等の指導により、中学校吹奏楽部の技術向上を支援し、音楽隊との共演するコンサートも実施する。	1,000
8	通年	主催	プロデューサーinレジデンス	-	横浜音祭り2022に向け、アーティストが企画・制作に携わり、アーティスト自らが音楽で人と人をつなぐ企画を始動する。	1
9	通年	主催	横浜WEBステージ ／移動型みなとみらいホール	-	2020年に実施した動画配信イベント「横浜WEBステージ」の継続実施。動画配信の継続と収録した音声・動画等を活用したイベントを検討。	-
10	未定	主催	学校プログラム	市内小学校等	主に小学校を対象とし、音楽プログラムの提供を通してこどもの創造力育成をはかる事業。	1,000
11	通年	主催	オルガン連携事業 (パイプオルガンと横浜の街)	市内各所	リニューアル後のオルガン事業につながるよう、次期ホールオルガニストを交え、他施設のオルガン担当者とのネットワーク構築・拡大する取り組みを行う。	-
12	通年	協力等	地域連携渉外事業	周辺地域等	周辺企業との連携等を通して、街のにぎわいづくりに寄与する。	-